

**平成30（2018）年度  
研究、教育、社会・学会活動報告書**

1. 研究（本年度のみ）

教員氏名	小島 理沙		職 位	准教授	学 位	修 士
	専門分野	環境経済学				
研究課題	テーマ	容器包装廃棄物並びに食品ロスの発生抑制				
	概要	廃棄物の発生抑制を目的とした実証分析				
本年度 研究業績	研究費	総額：10,225,000 円 内訳：個人研究費 225,000 円 / 科学研究費 万円 そ の 他 政策委託研究費 1,000 万円				
	研究テーマ	食品ロスの経済便益損失と普及啓発のアプリ開発、リユース食器導入				
	経過と到達点	食ロス経済便益の評価方法、アプリ開発と実施、地域へのリユース食器の導入とプラスチック容器包装の削減				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年 月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート等	個別リサイクル法の論点と成果①	2018年 4月	単著	月刊廃棄物, Vol.44, No.565, P36-37	容器包装リサイクル法他の解説
⑥紀要研究ノート等	個別リサイクル法の論点と課題②	2018年 5月	単著	月刊廃棄物, Vol.44, No.566, P38-39	食品リサイクル法他の解説

⑥ 紀要研究ノート等	イベント食品ロスと消費	2019年 2月	単著	月刊廃棄物, Vol.45, No.575, ページ数未定	イベント食品に関する食品ロスと消費者の関係
⑥ 紀要研究ノート等	廃棄前提からの脱却と課題	2019年 3月	単著	月刊廃棄物, Vol.45, No.576, ページ数未定	イベント時の使い捨て容器とリユース食器の課題
⑦ 学会での口頭発表、討論者(ディスカッサント)	行動記録による食品ロス削減効果に関する実証研究	2018年 9月8日	共著(1st Author)	環境経済政策学会	2017年度神戸市が実施した食品ロスダイアリーの削減効果分析

## (2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧ 共著書・共訳書	おひさま[はじめのいっぽ]	2018年 4月	くろしお出版	マルチリンガル・バイリンガルの子供たち向けの日本語教材(第24歩の監修)
⑨ 単著書・単訳書				

## (3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩ 共同研究 (研究代表)	食品ロス削減による経済便益に関する調査・分析 (小島 理沙)	2018年 ～ 2020年	環境省 環境経済の政策研究	食品ロス削減に向けた消費者提供情報の開発として、経済便益の指標を作成し、家庭の食品ロス削減に効果があるかを検証する。
⑪ 単独研究				
⑫ 共同研究 (分担研究)				

## 2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	経済学入門	ミクロ経済学
	講義	ソーシャルビジネス概論	日本経済論
	演習	ゼミ (2回生)	ゼミ (2回生)
	演習	基礎ゼミ	ゼミ (1回生)
	実習	プロジェクト演習	プロジェクト演習
	教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目	<p><b>経済学入門</b>：FDを活用しながら、同科目の先生と範囲を調整。原則PPTを活用し、高校～大学までの範囲を浅くカバー。</p> <p><b>ソーシャルビジネス概論</b>：SBの概論から様々な各地での取り組みの事例紹介。PPTを活用した講義形式。</p> <p><b>ミクロ経済学</b>：板書スタイルでミクロ理論モデルを教えた。速度はゆっくり、内容は丁寧をモットーに実施。計算問題も出題。</p> <p><b>日本経済論</b>：PPTを活用した講義形式。日本の未来から現在、そして過去を振り返る内容を講義。近世（江戸時代）までさかのぼった。</p>
◆ 演習科目		<p><b>2回生</b>：食品ロスの消費者コミュニケーションの実践として、三木市環境フェスティバルに出場。ブース展示、紙芝居の作成、舞台ではヒーローショーで台本も作成。1泊2日で研修合宿となった。その後は、活動の振り返りをやって、卒論に向けた研究を各自で実施。卒論は全員がテーマを決めて書いて提出。（印刷し冊子を卒業時に配布予定）</p> <p><b>1回生</b>：容器包装廃棄物の発生抑制に取り組む前に、マーケティングの勉強を実施。①仕掛学の本の要約（全員） ②マーケティングの本を一人1冊ずつ担当し、PPTで内容を発表 相互ディスカッションと教員からの補足説明。日清食品グループのマーケティング研究（グループワーク）と見学会の実施。</p> <p><b>基礎ゼミ</b>：「価格の秘密」を探るべく、お値段マップの作成をグループワークで実施。</p>	
◆ 実習科目		<p><b>プロジェクト演習</b>：リユース食器を自治会夏祭りに導入依頼し、実践。成果を全国学生環境活動コンクールに出展し発表（東京）、1月9日にごみゼロクッキングを実施（藤ノ森・京エコロジーセンター）</p>	
◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）			

## (1) 課外活動

①研修旅行 国内	2回生ゼミ（三木市）、1回生ゼミ（池田市）、プロジェクト演習（福西・境谷・代々木〔東京〕・藤ノ森）
②研修旅行 国外	

## 3. 社会・学会活動（本年度のみ）

## （1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長	
②委員・アドバイザー	神戸市食品ロス削減調査・事業化計画検討業務 ステークホルダーミーティング委員
	神戸市食品ロス削減推進会議 委員
	神戸市マイバック作品展審査委員会 委員
	姫路市環境審議会 委員
	農水省 地球にやさしいプラスチックの資源循環推進委員会議（有識者懇談会）委員
	(公)日本容器包装リサイクル協会 広報専門委員会 委員
	環境省 3R 推進マイスター

## （2）講演会

分 類	活動・講演の概要
③講演者・登壇者	

## 4. 特記事項（本年度のみ）

<p>神戸大学経済学部</p> <p>ESD 演習Ⅰ・・・次世代エネルギーWS（5日間のWSと関西電力姫路第2発電所見学）</p> <p>ESD 演習Ⅱ・・・長野県伊那市（2泊3日）＋座学WS2日間 森林資源の保全と活用と地域経済について</p> <p>社会コミュニケーション入門・・・本学経営情報学科特講とのコラボ</p> <p>※次年度（2019年度） 博士論文提出予定</p>
---